



# あ ま 海 士

平成16年  
**9**  
No. 386

◆編集発行 島根県隠岐郡海士町役場  
TEL (08514) 2-0111  
◆印刷 信栄堂印刷(海士町菱浦)  
Eメール:info@town.ama.shimane.jp



## ふるさとで誓う成人式 35名が大人の仲間入り

8月15日海士町成人式が行われ、新成人の該当者35名の内29名(町内在住者は2名)が出席しました。隠岐神社で奉納祈願祭と記念撮影を行ったあと隠岐開発総合センターで式典が行われました。新成人を代表して石塚零央くんが「これからは責任ある生き方をしなければ」と力強く誓いの言葉を述べました。また、式典終了後はマリンポートホテル海士で祝賀会を行いお互いの近況報告などをしながら楽しい一時を過ごしました。

### 町の人口世帯数

総人口 2,532人(-4)  
男 1,188人(-5)  
女 1,344人(+1)  
世帯数 1,095世帯(±0)  
住民基本台帳(8月末現在)  
( )内は6月末との比較

### 主な内容

- 地域再生計画他……………2～3
- 町の話……………4～9
- 空き屋情報他……………10～11
- 議会だより……………12～15
- 教育だより……………16～17
- 隠岐島前高校だより他……………18～19
- 戸籍の窓……………20

# スタートした海士町地域再生計画

## 地域の生き残りをかけた事業展開を！地域再生・自立を目指して！

海士らしい人づくり・海士らしいモノづくり・海士らしい健康づくりの3本柱を掲げ「海士らしさ」を追求し、「新海士創り」を始めます。

### 国が支援する事業

- ◆全国 27 市町村 (8 地域から海士町もその中の一つに選定) 「地域雇用機会増大促進支援事業」の展開 (厚生労働省)
- ◆まちづくり交付金の創設 (国土交通省)  
まちなみ修景・史跡の保存再生

## 国の地域再生に関する基本的な考え方

地域再生とは、経済的に困難な状況に直面している地域を、国が一方的に支援するのではなく、あくまで「自助と自立の精神」知恵と工夫の競争による活性化」の尊重を念頭に、「地域が自ら考え、行動する、国はこれを支援する」ことを通じて、地域経済の活性化と雇用の創造を図り、「持続可能な地域再生」を実現しようとするものです。

地域再生の実現のためには、地域の産業、技術、人材、観光資源、文化、歴史などの地域が有する様々な資源や強みを知恵と工夫で有効活用することにより、地域の活性化や地域内外のニーズの発掘に応じた民間事業者の健全なビジネス展開を通じて、十分な雇用を創出することが重要であります。

## 地域再生の意義と目標

海士町では、地域の生き残りをかけた様々な施策を展開し、「自らが汗を流して、我が町の自慢になる顔をつくらう！」それを達成するためには、「海士らしい人づくり」「海士らしいモノづくり」「海士らしい健康づくり」の3本柱を掲げ「海士らしさ」を追求し、「新海士創り」をはじめようとしています。

## 主な重点施策

キーワードは「海・潮風・塩」

海士町地域再生計画の4つの重点施策。

### ① 「特産品開発事業展開」

- 素材の細胞を生かしたまま瞬時に凍結冷凍できる「新技術CASシステム」を導入。
- ミネラル豊富な海士の天然塩を活用した商品開発。

### ② 「地産地商の事業展開」

- 地場製品の消費拡大や全国へ情報発信、全国販売を展開。
- 食品加工技術、商品開発、販路拡大等を担う人材育成および地域の雇用機会の増大を図る。

### ③ 「潮風農業特区認定」

- 建設会社の参入により遊休農地を活性化し海士牛のブランド化を推進。

### ④ 「定住環境・人口の拡大」

- 空き家、廃屋のリニューアルをはじめ、定住住宅を建設
- 定住者が積極的に参加できる環境づくりや歴史建造物の保存活用を図る。

## 国が支援する事業

地域再生に向けた事業展開

- ▼地域雇用機会増大促進支援事業  
事業費2、320万円

(内交付額2、320万円)

- CASシステム導入による加工業務・流通業務における人材育成・確保支援

- 観光・物産ネットワークづくりのための人材育成

- ▼まちづくり交付金の創設  
事業費2億5、400万円

(内交付額1、360万円)

- まちなみ修景・保存再生
- 歴史的建造物の保存修正
- まちづくり交流活動の支援
- 積極的な定住対策

- \*定住住宅の建設
- \*空き家改修等による定住対策

### II 関連事業 (総務省が支援) II

- ▼「e」地域ビジネス・地域活性化プラン事業 (事業費1、000万円)

IT (情報技術) を有効に活用し、CASを核に農水産物の生産者や加工者、消費者を結ぶネットワークシステムを構築し、海士ブランドの全国発信を行う。

このような戦略的な取り組みが、一歩町の自立につながり、元気で魅力ある町になるよう民間と行政が一体となって取り組もうとしています。



南光梅200kg

# 「海士の塩」で清けた梅 自家製梅干しづくりに挑戦!



中村成子先生を講師に、主婦や宿泊関係者約80名の方々が参加。

6月26日、梅干し大会と称し町内から200kgの南光梅が集められ、ミネラルたっぷりの「海士の塩」で漬け込み作業が行われました。

会場となった保健福祉センターのまわりでは大会前日から、料理研究家の中村成子先生にご指導いただきながら梅の実一つひとつ丁寧に作業が進められました。当日は、約80名の参加者があり、自家製梅干しづくりに挑戦しました。

今、町では「海士の塩」を使った特産品づくりをめざして様々な取り組みを展開しようとしています。

の「梅干し大会」は、ミネラル豊富な天然塩「海士の塩」を使って良質な梅干しを創ろうという取り組みです。

7月21日には、キンニヤモニヤセンター「船渡来流亭のテラス」で天日干しが行われ、ほのかに漂う梅の香りに誘われ、館内を訪れたお客さんや、フェリーの乗降客の目を引き観光名物とも言えるような光景でもありました。

3日間の天日干しを終え熟成梅干しの漬け込みが行われ完成が楽しみです。また、秋には梅林づくりを計画しており、梅の木を植樹する予定です。今後の「海士の塩」を使った取り組みが、町の産業おこしになるよう期待しています。



小梅は洗う前のポイントとして、あらかじめ焼酎をスプレーしておくことで汚れがとれきれいに落ちます。



干す時も丁寧に一個ずつ間隔をあけて、並べます。風と太陽をまんべんなくあてるのがポイント。



船渡来流亭のテラスでは潮風と梅のほのかな香りにつつまれて通りかかると旅人の足を止めるほどに・・・



梅の実の一つひとつ手に持ち傷をつけないように漬け込みます。

## 海士町環境美化 推進対策会議設置

### 環境美化の推進を目指して

海士町環境美化条例が今年の4月1日施行されたことを受けて、海士町環境美化推進対策会議(20名の委員、会長澤田助役)を設置し、6月16日に第1回会議を開催しました。当日の会議では、環境問題についての意見交換と対策の検討を行い、6月5日を「環境美化の日」、6月を環境美化推進月間と定めたほか、海士町防災行政無線による啓発放送を毎月行うことなどを決定しました。

また、環境美化推進員の委嘱も併せて行い、3名の美化推進員さん(西地区の横山一孝さん、御波地区の竹下一昭さん、菱浦地区の片山雅夫さん)に、定期的に環境パトロールを実施していただきます。

空き缶のポイ捨て等は一人ひとりの心の問題ですが、個人・地域・事業所等が一体的・全町的な取り組みを行うことで、不法投棄をなくし環境美化を推進しましょう。



町の元気はキンニャモニャから〜

# 第9回キンニャモニャ祭り

## しゃもじ両手に燃えた 850人



恒例となった海士町キンニャモニャ祭りが、8月28日菱浦湾岸沿いにおいて賑やかに行われました。特設ステージとなった海上の台船では、花火を合図に地域芸能交流会が始まり、威勢のいい隠岐太鼓に続き、今年初参加の大東町から大黒舞、福井小学校の元氣溢れるよさこいソーラン節、そして、小沢千月先生、国村千鳥さんの歌や踊りなど、数々の芸能が披露され賑わいました。中には、飛び入りでパフォーマーダンスする観客や踊りの中に入る観光客もいて、交流の深まった一時でもありました。また、大変な暑さの中、演じる人スタッフの人、出店のボランティアの方々等、皆、額に汗しながら祭りを盛り上げました。そして、夕方6時から祭りのハイライト「キンニャモニャパレード」が始まり、町内の自治会や職場グループ等32団体、また、町外から10団体およそ850人が趣向を凝らした衣装で参加。湾岸一帯しゃもじの音が響き祭りが最高潮に。その後、2300発の花火が上がり、その迫力を身近に感じながら去りゆく夏の花火を満喫しました。



東京「うえの祭り」に披露したアップテンポでノリのいいキンニャモニャ踊り。



毎年キンニャモニャ祭りに帰省される国村千鳥さん、澄みわたる歌声を聞かせてくれました。



中野勝枝さん作詞、石田光輝さん作曲の振付け油井朝子さんの「承久の千本桜」を華麗に披露



石田さんのグループ「GoZ」がベンチヤーズの曲を披露飛び入りする観客も...



元気いっぱい福井小学校の児童たち。鳴子をもって「よさこいソーラン節」を披露



出雲神西会の皆さん演じる時には笑顔をお忘れません。パッチリきまった銭太鼓でした。

# 第53回 うえの夏まつり初参加!

## お江戸から発信 隠岐國キンニヤモニヤパレード



隠岐國キンニヤモニヤパレードは9番目。40万人の大観衆の中、総勢80名が威勢よく、幅30mのコースに列を組み笑顔でパレードしました。

7月24日、東京上野において『第53回うえの夏まつり』が開催されました。青森ねぶた祭り・佐渡おけさ・盛岡さんさ踊り・琉球國祭り太鼓など、全国各地から18団体・約一四〇〇名の参加があり、著名な祭りに交ざって、隠岐國キンニヤモニヤは初エントリーし、堂々とパレードに参加しました。

そして関東隠岐人会の方々等、総勢80名でキンニヤモニヤパレードを行いました。この「うえの夏まつり」へ参加するにあたり、一年前から準備に取りかかり、今年5月には小沢千月先生とその姪御さんにあたる田島純子先生（東京の子供達の振り付けを指導）に海士町へお越し頂き、パレード用に原曲をテンポ

アップさせ、アレンジした曲を制作からプロデュースまで、千月先生をはじめとする関係者の皆さまには色々とお協力いただきました。

パレード前にはうえの公園にてデモンストレーションを行い、隠岐のPRにパンフレットやしゃもじを配布し、その場でキンニヤモニヤ教室を行い大観衆を巻き込み、賑わいのある時間を過ごすことができました。そして、いよいよ午後6時30分からパレード開始。

今回は、大きなしゃもじを使い黄色のハッピに黄色の足袋を履き、ライトアップされた夜のコースで一際目を惹きました。ゴールまでの距離は約800mあり、沿道には約40万人の大観衆が詰めかけていました。キンニヤモニヤの軽快な曲と楽しい踊りに、いつしか沿道からは「キンニヤモニヤ」とかけ声まで聞え、遠く島根から来た私たちにたくさんの拍手と声援を頂きました。

パレード終了後、上野駅構内、水上音楽堂のステージで

もキンニヤモニヤを披露し、特に水上音楽堂では海士町の踊りさん以外に千月会や関東隠岐人会の皆さんがしゃもじだけでなく鍋蓋を使った滑稽な振りで、さらに観客を沸かせてくれました。真夏の東京、連日の猛暑の中でのパレードで、体調等気がかりではありましたが参加者全員が笑顔で元氣いっぱい踊りを披露。隠岐の素晴らしいPRが出来たのではないかと思います。また、今回の様子をビデオでご覧頂けるように無料で貸出しをいたします。ご希望の方は、海士町商工会・海士町観光協会に用意してありますので、お問い合わせ下さい。

(海士町観光協会 磯田由香里)



パレードの後、上野駅構内でも踊りを披露し、バリのいい曲に手拍子や大きな声援をいただきました。

### 「介護・福祉サービス利用者アンケート調査」のお礼

海士町では、より質の高い介護・福祉サービスにつなげていくために、現在利用している方と1年以内に利用したことのあるご家族の方々を対象（230名）に調査を実施いたしました。ご協力頂いた方にお礼申し上げます。

ご意見をもとに、サービス提供事業所の代表者とともに今後の介護・福祉サービスの充実に向けて協議を行い、課題事項については事業所ごとで解決に向けて対応することを確認いたしました。町といたしましても介護を必要とされる皆様ができる限り利用しやすい体制をつくりたいと考えています。

また、サービスについての要望等がありましたら、お気軽にご相談下さい。

◆お問い合わせ先

海士町社会福祉協議会

②-0010

特養老人ホーム諏訪苑

②-1600

役場健康福祉課

②-1823



# 海士町盆踊り大会 2004



ヤートセエ〜 踊って・笑って・汗かいて〜



今年も恒例の海士町盆踊り大会が、8月15日隠岐神社外苑でおこなわれました。

受付開始前から大勢の家族連れや帰省客の方々が訪れ、久しぶりの再会を喜びあう若者らなど、1000人を超える参加者で賑わいました。

盆口説きからキンニヤモニヤ踊りへと段々と踊りの輪が広がり、子どもからお年寄りまで燃えた夏の一夜でした。

会場には、ゲームコーナーや食べ物コーナーなどの出店がオープンし終始賑わい、また、

お楽しみ抽選会では、司会者のパフォーマンスで豪華賞品が次々に紹介され、抽選のたびに大歓声が飛び交うほどに・・・最後に「ふるさと海士へ帰って来いよ！」の声だけで大会を締めくくりました。いずれにしても皆さんに満足のいく催しを行うには、大会に参加いただくことはもとより、運営を支える結束力が一番大切です。今後とも地域のみなさんのご理解とご協力をよろしくお願致します。

## ふるさとに貢献したい！

### 交流深めた一泊研修



7月19日(有)イズカンパニー社員研修が海士町で行われ、40名のスタッフが来町しました。

(有)イズカンパニーのオーナーは、海士町西出身の井上勇さんで、現在、松江市や東京に美容室5店舗を出店する業界のカリスマです。

二年前、立春式を迎えた中学2年生に「激戦の世界で生き抜いていくためには、器用、不器用は問題じゃない。大切なのは本人の頑張りと努力が大切」という激励の言葉を述べられ、華麗なヘアークットショーを披露したのが印象に残っています。

今回は、地域貢献を目的に社員40名と共に帰郷され、地元高校生10名を対象にチャリティーヘアークット

を開催したり、また、町内の美化運動にも努めました。

参加された社員の方は、「今回のようなボランティア活動は初めて・・・頑張りますよ!」と強風の中汗を拭きながらいつも握る「はさみ」を「ヒバシ」に持ち替え道端の空き缶拾いをおこないました。ヘアークットのモデルとなった高校生は「とても気に入った髪型になったのでうれしい!」「楽しかった!」「またやってほしい!」と満足した笑顔で応えてくれました。

また、研修先の都市農村交流センターでは地元若者20名とパークキューを囲みながら交流を深める故郷研修となったようです。ちなみに今回のチャリティーヘアークットの収益は、海士町社会福祉協議会に寄付されました。



後鳥羽んさんゆかりの…

# 交流の輪・深まる友情！

2泊3日の児童交流



岡山県井原市の県主（あがたぬし）地区には、後鳥羽上皇がお立ち寄り

捕れたてのイカを刺身で食べ、イカのコリコリした食感を堪能しました。

になったと伝えられる金剛福寺があり、そこで上皇をお慰めした手踊りが「鳥羽踊り」の発祥と伝えられています。平成5年県主地区の方々が、隠岐神社へ「鳥羽踊り」を奉納したことがきっかけとなり、交流が始まりました。

児童交流は平成9年から行われ、今年井原市から海士町へ21名の児童（5、6年生）が訪れ、地元児童25名との交流深まる3日間を過ごすことができました。

交流初日は、都市農村交流センターでの歓迎式の後、海水浴やイカ釣りを体験



県主地区から総勢 60人参加

また、2日目は、クルージングをし、国賀海岸をはじめ島前内湾の絶景を満喫。また、午後からは、郷土民謡「キンニヤモニヤ踊り」を練習して、夕方からの『キンニヤモニヤ祭りパレード』にも参加。「難しいけどなんだか楽しい」と額に汗しながら祭りを満喫したようです。そして3日目、フェリーでのお別れには涙する子ども達。フェリーが見えなくなるまで岸壁から追いかけて手を振る姿が印象的でした。

児童交流をはじめ今年で8年目となりその交流の深さは年々深まっています。次の世代を担う子ども達に、後鳥羽上皇にまつわる歴史を継承し、今後も交流を長く続けることが大切ではないかと思えます。



紙テープをはってお別れ… また来てね！



堅い握手を交わしお別れするひとコマ



# 海士を丸ごと体験...

## 新宿日本語学校留学生の研修旅行

東京の学校法人江副学園新宿日本語学校の留学生(韓国、ベトナム、ブラジル)4名が8月26日から9月1日の日程で本町を訪れました。



海士町が島ごとブランド化を目指し首都圏への情報発信を展開する中で、6月に町長、教育長等が学校を視察、7月13日には江副隆秀校長を始めとする経営陣が本町を表敬訪問、町内の学校や交流施設等を視察され、引き続き7月29日には企画担当の職員が来町

して本町での事業を模索する中で、早速、隠岐の島研修旅行として実施されました。

新宿日本語学校は、昭和50年に設立された日本語教育の専門校ですが、現在世界各国から集った約600名の留学生が学んでいます。

学園長の江副隆愛先生が昭和26年カトリック宣教師を対象に日本語を教えたCLC学院が前身といわれ、長年に亘って蓄積されたノウハウから編み出された江副式と呼ばれる教授法や特殊な記号を読み取って音声の出る日本語教材を開発するなど、この学校独自の日本語教育は高い評価を受けています。

国際基金や国際協力機構の日本語指導教師として、度々海外に派遣されている実績や日本語教師養成講座を併設していることがそれを物語っています。海外(韓国、香港、ベトナム、フランス)にも提携校をもって事業展開を図つ

ている国内屈指の日本語教育の伝統校です。

このたび来町した留学生には、本町のさまざまな資源を活用して、都会では味わうことのない日本の生活様式や文化を体験してもらい、私たちも彼らとの交流を通して自分たちの豊かな町の自然や歴史、伝承文化を誇るべき資産として改めて認識することができました。今回の訪問が本町にとって交流人口の拡大という視点にとどまらず、国際理解を深めるきっかけにもなりましたが、今後は将来を見据えた学校との交流事業の展開が期待されています。



江副学園経営陣の表敬訪問

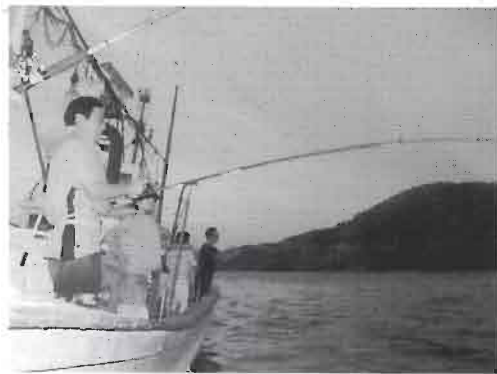
▽御火葬塚や歴史民俗資料館で歴史を学び、その後、隠岐島前神楽を体験しました。



▽塩作りやいわがきの作業所を見学しました。塩小屋が海の近くにあると思っていた皆様は、山の中にあつてびっくりしたそうです。



▽お待ちかねの白イカ釣りに挑戦。漁船に乗るのも、漁をするのもみんな初めての経験です。



▽箱めがねを覗くと、海の生き物がいっぱい。都会っ子の皆さんは隠岐の海的美しさを実感したのです。





〔隠岐神社拝殿にて〕

# 奉納かるた大会開催

## 雅やかな王朝時代にタイムスリップ

7月3日(土)、全日本かるた協会主催による小倉百人一首競技かるた制定100周年記念イベントとして、後鳥羽上皇が祭神の隠岐神社拝殿において、奉納かるた大会が開催されました。前日まで台風の影響があり悪天候ではないかと心配していたのが嘘のように、当日は真夏日となりかなりの蒸し暑さの中、新旧かるたクインによる奉納かるたが行われました。雅やかな王朝時代にタイムスリップしたかのような雰囲気包まれ、また、見事な集中力と手さばき(スピード感)に見物客から



の際には海士町の代表的なキンニヤモニヤを習って帰りたいという事で、参加者全員で踊り、とても楽しい一時を過ごすことが出来ました。

翌日には、全日本かるた協会中

歓声が上がりました。

また、奉納かるた大会に併せ一泊二日のツアーを企画、全国各地から約60名の参加者がありました。

奉納かるたの後、場所を変え、加藤楸邨門下生で井上宗雄立教大学名誉教授による「後鳥羽上皇と藤原定家」と題した講演会も行われ、ツアー参加者はもちろん地元の方もたくさん参加され、先生のお話に聞き入っていました。夕方からは、ツアー参加と地元関係者(スタッフ)との親睦会をキンニヤモニヤセンター船小屋にて行いました。そ



国支部主催による初心者からた教室(小学校3年生~大人まで)が中央公民館で行われ、子供から大人まで約30名の参加がありました。子供達の中には、すでに百人一首を学校で習っているのか歌を詠むなりすぐに札をとる子供達もいて、先生方もびっくりされていました。小倉百人一首は日本を代表する歌人による、人間と自然界の風物との脈々たるかわり合いを詠った日本の素晴らしい文化遺産の一つです。また、かるたは集中力や記憶力も鍛えることができます。こうした文化を大切にしながら、地元の方と全国の方々の交流の輪を広げていくことが出来ればと思いました。(海士町観光協会 崎野里美)

## デリック・フリー先生の見た海士はどんな海士?



毎週1回の英会話教室の様子

しよう。カナダの大都市では、犯罪、公害、子どもの安全を脅かすような問題が増えてきており、そういう土地を離れてみて、自分の息子をこんな健全で、未知の魅力にあふれる「アイランドパラダイス(楽園の島)」で育てることができるとは、とてもありがたいことだと感じています。

(文略)

この島にきて最も強く感じたことは、残念なことに、島前3島間での相互理解や協力が欠けているのかなあとということ。3島は、全国的にみれば極めて小さい離島です。「脱中央集権化」が進んでいる今日の日本では、我々のこの小さなコミュニティは、過去のことは忘れて互いに協力し、未来のため、子どもたちの将来のために、新しい出発点を築いていかなければなりません。この島前には、世界に誇れるものがあります。歴史、文化、美しい自然、おいしい食べ物等。しかし、明日への未来を築くには、協力和調和なしでは難しいのではないのでしょうか。

(和訳 湯橋卓也)

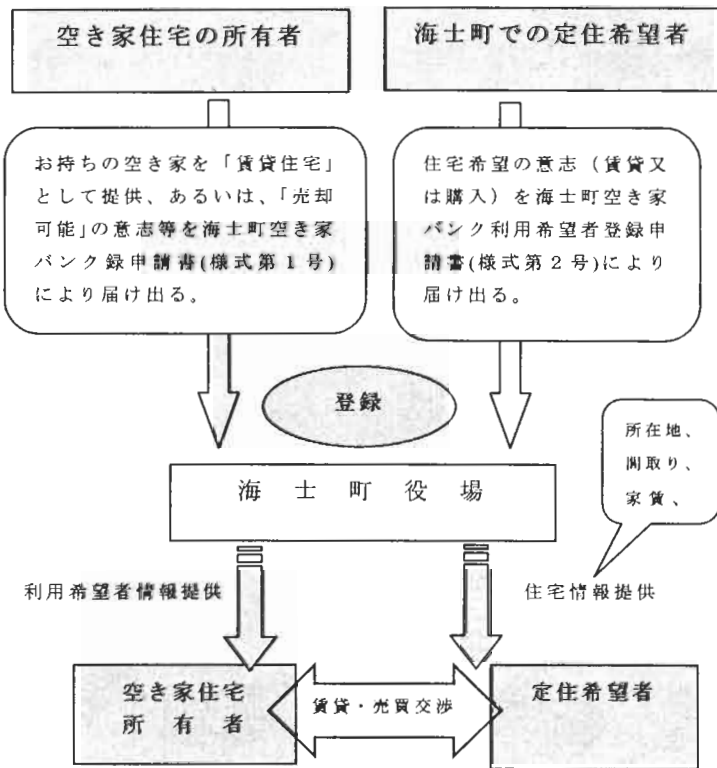
「この島に来て、あつという間に一年が過ぎてしまいました。任期を終えて帰国したALTや島根県にいる他のALTの先生たちは、この海士が小さくて退屈な田舎だと思っ

ているようで、私がもう一年(延長して)海士に残ることに、驚いていました。私は海士の『いいところ』を知っています。ここは、子どもを育てるには、素晴らしい場所です。私の3才になる息子、アンガスはこの土地を大変気に入っています。澄んだ空気、美しい海、そして緑あふれる山々に囲まれたこの土地は、これから「山あり谷ありの人生」を歩み始める彼にとって、最適の場所になるで

# 空き家を提供して下さい！

## 空き家バンク制度・空き家リニューアル事業のご利用を

(空き家バンク制度の概要)



① 今、海士町が管理する住宅は70戸あります。しかし、空きのない状態であり、住宅を探している町内外の方々の問い合わせに全く応えられない状況です。人口が減少し続けている中で、海士町に住みたいという方の要望に少しでも応えるために、住宅整備が緊急課題です。このような状況の中、住宅確保に向けて次のような方法を進めます。

①の交付金事業による住宅建築(二年間で16棟26戸)

② 空き家やバンク制度の創設の促進

③ 空き家リニューアル事業

中でも、空き家バンク制度は町内にたくさんある空き家の有効活用をお願いするため、新しく創設したものです。その概要は、左記の図にあるように、空き家所有者の方による空き家の登録、空き家を利用したい方の名簿登録を行い、お互いの条件のあった方同士による話し合いによって空き家の利用方法を決定するもので

住宅所有者と住宅希望者が売買又は賃貸契約の内容等について双方で話し合いを行います。(町は契約にあたってお手伝いをします。)

また、空き家リニューアル事業は以前から行っている事業ですが、この事業は、町が空き家を所有者の方から10年間借り上げ、改修を行ってから住宅希望者の方に賃貸住宅として利用していただくものです。これらの事業により空き家を提供いただける方は、交流促進課定住係(二一〇〇一七)までご連絡下さい。

(制度上の相違点)

区 分	空き家バンク制度 (賃貸の場合)	空き家リニューアル事業
賃貸期間は？	契約期間	10年間
入退去管理は？	所有者	町
住宅維持管理は？	所有者	町
火災保険料は？	所有者(使用者)負担	町負担
固定資産税(住宅分)	所有者(使用者)負担	免除
住宅改修費は？	所有者(使用者)負担	町(400万円上限)
家賃収入は？	所有者の収入	町の収入
光熱水費は？	使用者負担 (未入居時は所有者負担)	使用者負担 (未入居時は町負担)

空き家の管理にお困りの方、あるいは町の活性化事業にご協力いただける方、ぜひ制度のご活用をお願いいたします。



## 猫の不妊手術ご協力のお願い

私達、隠岐海士町の猫の不妊手術の会では「人」と「猫」が気持ち良く共生できる島にするために、繁殖を望まない場合や不幸な命を増やさないために、またご近所にご迷惑をお掛けしないためにもとの切なる願いから7月26日より28日の二日半に亘り、神奈川県大和市の獣医師山口先生のご厚意と京都市のボランティア団体「ゼロの会」の総勢5名の全面協力と海士町役場のご協力ご支援の下、雌猫の避妊44匹、雄猫の去勢40匹、その他6匹の合計90匹の不妊手術を完了する事ができました。今回の不妊手術の実施に際し行政はもちろんボランティアとして、協力いただいた海士町環境を守る会の片山会長、竹下副会長、安井様に本紙上をお借りして厚くお礼申し上げます。

また、安来市の西村様、東京町田市の市村様始め、町内9ヶ所及び、会場内の募金箱に多くの方々から貴重な募金をいただきました。

この貴重な募金は手術に必要な薬品・医療用副資材の購入費用・捕獲機材の運搬経費・医療団の方々の滞在費用・食料等々の費用に充当させて頂きました事をご報告致しますと共に協力頂きました皆様方に重ねて厚くお礼申し上げます。次第です。一部自治体では、個人の不妊手術毎に2〜3千円の補助金を支給する制度があります。今回のような一斉不妊手術に対して行政が側面支援（医療団5名）の旅費相当分を補助）した例は全国初のケースとして、動物専門誌「動物ジャーナル」から高い評価を受け、次号で全国に向けて発信されます。猫の殺処分ワースト上位の島根県にあって、人と猫が共生できる島を目指して今後も引き続き不幸な命を増やさない努力を行いますので皆様方の一層のご支援をお願い致します。

隠岐海士町の猫の不妊手術の会

代表 松田 修一

## 再就職活動に向けての職業講習会の開催について

財)ふるさと島根定住財団では、厚生労働省島根労働局及び島根県の委託を受けて、県内住居者で、求職活動中の方を対象とした講習会を開催します。参加費は無料で、定員は各会場 40名です。

内容は、再就職活動に必要な知識・情報収集の方法や面接訓練、地元企業経営者の講演会など、効果的・効率的な求職技術を習得する機会を提供するものです。

## ○ 開催場所・日時

- ▲ 会 場 西郷町
- ▲ 開 催 日 平成16年10月7日(木)～8日(金)
- ▲ 受講申込締切日 平成16年10月5日(火)
- ▲ 開 催 場 所 ハローワーク西郷(会議室)【隠岐郡西郷町城北町55】

\* 講習時間は午前10時から午後4時まで

## ○ 問い合わせ先

松江市朝日町498-6 松江駅前第一生命ビル3階  
(財)ふるさと島根定住財団 就職支援課 前田 (TEL 0852-28-1322)

## しまね電子申請サービス

<http://www.elg-shimane.jp/>

## 海士町は10月スタート!

しまね電子申請サービスとは、県と市町村が共同で運営し、自宅や職場などの身近な場所から「インターネット」を通じて『行政手続』が可能となり、時間と経費を節約できる仕組みです。

詳しくは、折込リーフレットをご覧ください

# 議会だより

## 6月定例会



▼原案どおり可決。

第436回定例会が6月24日招集され2日間の会期日程で開催されました。上程された議案は、補正予算8件、条例2件、その他3件でいずれも各常任委員会で慎重に審議しました。上程された主な内容は次のとおりです。また、4名の議員が一般質問をおこないました。

する条例制定

(内 容)

町の機関に係わる申請・届出その他の手続き等に関し、平成16年10月1日からオンライン化されることに伴い条例化するものです。(県下一律)

●海士町地区集会所設置及び管理に関する条例の一部改正

(内 容)

各地区集会所の構造及び床面積の項目を追加するものです。

●専決承認

●平成15年度補正予算の一般会計及び特別会計合わせて1億761万1千円を減額し、総額69億2,051万2千円とした。

●消防団員に係わる退職報奨金の支給に関する条例の一部改正

(内 容)

退職金を団長、副団長など、各々国の制度に基づき増額するものである。

(H16・4・1以降適用)

●消防団員等公務災害補償条例の一部改正

(内 容)

国の制度に基づき基準額を引き下げるものである。

(H16・4・1以降適用)

●職員の給与に関する条例の一部改正

(内 容)

給与月額額の20%カットの管理職対象者について、診療所医師を除くとある。これを診療所医師のあとに「平成16年度中に早期退職の申し出をした管理職を除く」を加えるものである。

●税条例の一部改正

(内 容)

町民税の非課税の範囲等の変更である。

## 一般質問



柏原 広行議員

### ◆農産加工施設について

町の命運がかかっている大切な事業であり、また、失敗は許されない事業であると考ええる。来年の開設に向けて準備も進んでいると思うが、経営計画についてどのようなことを考えているのか次の4点を伺いたい。

(町 長)

いるが対象魚種を絞り込めていないのが現状。養殖イワガキをはじめ、大型定置網、一本釣り、延縄漁で獲れる魚種に注視し、中でも安定傾向にあるイカ類や鯛類、青魚などをターゲットに見据え、更に絞り込みを行い商品力の可能性など総合的に検討を加えた段階で、ある程度の見通しが判断できるものと考えている。

②加工での販売戦略について

本町の地域再生計画が認定され流通販売促進活動の支援策が盛り込まれている。専門分野のアドバイザーや流通のコンサルティング支援を受けながら、東京・大都市圏をにらみ生産現場から卸業者、スーパー、ホテル等をターゲットに考えている。すでに一部をターゲットに動いている。

③経営主体は？

(町 長)

新設の第三セクター方式による運営を考えている。

## 予 算

●一般会計補正予算・特別会計補正予算計合わせて3、415万6千円を追加し、総額68億6,244万2千円とした。

## 条 例

●海士町行政手続きにおける情報通信の技術の利用に関





④加工施設で働く人の採用並びに研修について

(町 長)

研修については運営面、加工業務、流通販売業務関係など専門家のコンサルティンクを3カ年実施する予定。採用時期については、今年中に募集要項等を決定し求人広告後、年度末までには採用者を決定する。

◆医薬分業について

隠岐病院は今年の夏から実施。島前病院も検討されているようだが、海士診療所で実施する考えはないか？

(町 長)

本町においては、患者の皆様様の窓口での負担増、国民健康保険料の増、大きく期待できない薬局経費減など総合的に判断すると、現時点で医薬分業を導入するのは困難である。

◆国民保護法について

有事関連7法の一つ「国民保護法」について、有事に国民を守る責任や権限を国だけでなく、知事や市町村長に役割を分担させるものです。この法律に対して地方(市・町・村)の意見がどのように反映されたか。

(町 長)

昨年度当初に国から県を経由して、各市町村長に意見を求める調査があり、この時点では法律議論が具体的になされる前の段階であり情報も乏しく意見を出せるような状況ではなかった。現実に県下の市町村からの意見は全くなかったとのこと。今後は、国県に対して早急に詳細の事情説明と情報提供を要求していきたい。



寺下 雅人議員

◆消防の救急患者の体制について

消防署において海士町では年間70回の救急輸送が行われている。現在輸送時に対応している隊員は昼間は3名、土曜日、夜間は2名体制で対応している。隊員から聞くところによると2名の乗車の時には輸送中に何かと支障がでることがあるとのこと。この件については以前から問題になり話し合いがなされているが改めて町長の考えは。

(町 長)

現在、島後の町村合併に伴い広域行政関連の調整が行われ、広域消防についても組織の見直し等の検討がなされて

いる。海士町としてもこの機会に消防組織の見直しを含め一日も早く正規職員の配置ができるよう強く要望している。



中村 等光議員

◆海士中学校のグラウンド整備について

大変財政の苦しい中「草の生えにくい。高棚工法」で再整備されたところで。数年は草が生えにくい工法であると当初説明を受けておりますが、まだ整備後10ヶ月も経過していないのに何故こんなに草が生えたのか。生えにくい工法で契約されたと思えますが、この現状をどうとらまえているのか。

(教育長)

土の良さを残しつつ、安全

性、経済性を考えた時、この工法が適当と考え選択した。「草の生えないグラウンド」ではなく「草の生えにくいグラウンド」であり依然と比べて数段の開きがあり、量も少なく生えた草も抜き易くなっている。要するに後の管理、整備が大切だという事で今年から海士中学校に技術用務員を採用配置し、現在、業者のアフターサービスとして不良箇所の整備と今後の自主管理のマニュアル指導を実施する計画がなされているので期待している。

◆観光対策について

①金光寺山の駐車場から見える二股島、小森島のすばらしいはずの景色が雑木が大きくなり見えなくなっている。金光寺山からの風景はすばらしいものがあり、観光客の癒しの場所でもある。それが用をなしてないのでは「観光立町海士」の観光に対する取り組みが欠けているのでは。

(町 長)

雑木については民有地であ

るものが大半である。山林所有者に協力をお願いして、本年度と来年度は千本桜構想による雑木伐採を計画している。金光寺山は観光ルートの中でも眺望が重要視されている箇所であると認識しているので早速に対応を図りたい。

②宇受賀・豊田間の農道ですが、これからマイカー、観光バス等が多く利用されると思われる。展望台付近の糞、おびたらしい光景であり臭い。「大山隠岐国立公園」の名が泣くと思うが。

(町長) 放牧している畜産業者も定期的に除去作業を行っているが毎日ではない。「牛も集まるのどかな場所」ということで観光案内を行うこともある。程度を越える状況も如何なるのかと考えると、今年度畜産業者と相談の上、今年度中に柵を設け、道路に放牧できないよう準備を進めようとしている。



宇受賀から明屋へ抜ける農免道路

③海士町には、家族ファミリーで安全で楽しく夢のある釣りのできる場所がない。是非フィッシングデッキのような体験型観光のできる施設を作っていただきたいのですが。

(町長) 港の岸壁で釣りをする地元の子ども達や親子連れの家族をよく見かけます。また、マリンポートホテルでは釣り竿の貸し出しが年間350〜360件ほどあると聞いている。この数字が多いのか少ないのかわからないが容易に釣りのできる環境はある。フィッシングデッキ等の施設整備にあたっては、建設費や管理運営費等の財源問題、設備問題等

大きな問題がある。現段階では、施設の検討は行っていないが、将来的には検討項目として残しておきたい。

◆防災訓練の成果をどうお考えか。

6月12日に海士町民にとっては防災に対する最も重大な防災訓練が実施された。私は全体的に見て危機感が足らなかった様に思ってならない。町長はどのように思ったのか感想を伺うと共に次回はいったい防災訓練を行うのか。

(町長) 今回の最重点事項として地区別の災害危険区域の設定と要援護者のリストを作成致しました。このデータを現在担当課で電算化すべく作業中であり、これが完成すると常に新しいデータを各地区で保有が可能となり、災害時の確かな避難誘導に繋がるものと確信している。今回は、派手なパフォーマンスはなかったが、後に残る成果を生み出しており今後の防災活動に繋

がる。また、全町的な訓練については人的にも経験的にもかなりの負担が必要となるため、地区を限定してでも何らかの訓練を今後も検討していきたい。



花岡 美近議員

◆島前内航船「いそかぜII」のダイヤ変更について

4月1日から9月3日までの来居港発17時35分の別府直行便、9月4日から12月30日 来居港発17時40分 別府港直行便が、海士の利用者が待ち時間、乗り換え、別府の待合室閉鎖等々で大変不便を感じている。昨年は菱浦港経由となっていて便利だったが、どういう理由でダイヤ変更したのか。また、その他の便についても不都合な便があるので利用者の便宜を図るならば関係各機関に働きかけ改正する考えはないか。

(町長) 来居発17時35分の便については、別府から来居へ向けての利用客が多いため知夫からの要望で設定しました。

また、来居発17時40分の便については乗り換える必要があり、この便については何かと善処できる方法がないかフェリーどうぜんの待合室の件も含めて島前町村組合並びに隠岐観光と協議したい。

その他の便についても不都合な便が多数あるとのご指摘ですがすべての利用者が満足で



きるダイヤ編成は現段階では不可能である。次のダイヤ編成にあたっては、住民の皆様  
の要望を踏まえ利用者の便宜が図れるよう検討したい。

◆島前内航船「いそかぜⅡ」の菱浦発着の見直しについて

現在の発着場が高く接岸時  
にかなり間隔があき、子ども  
や高齢者及び身障者には大変  
危険である。また、時間帯に  
よっては3ヶ所に接岸し、利  
用者が大変困惑している。更  
に車輛の進入ができないため  
重量物の運搬が不便で、待合  
室が遠い。発着場の見直しに  
ついて町長の率直な考えは。

(町 長)

就航以来、多くのご意見や  
ご要望を頂きこれに応える形  
で現在の位置に変更、議員の  
ご指摘もごもっともかと思  
うが、今、元に戻す事で、また  
別の問題が生じる。位置を変  
えるのではなく改善策を検討。  
なお、吉野さん宅前の接岸に  
ついては、岸壁の改良工事が  
伴うため計画的に実施する必

要がある。補助事業の導入等  
今しばらく調整期間が必要。



キンニャモニャセンター横のいそかぜ発着場

◆本町の最重要課題の  
一である定住対策について

人口は町の存続にかかわる  
重要な課題であり、17年10月  
の国勢調査時に2600人を  
目標に、定住人口の増加に向  
けて施策を積極的に展開して  
いくことと思うが、ここ数年  
の自然減の平均43人を考慮し  
た数値目標と施策について。

(町 長)

4月から人口増加のための  
環境整備を図るため、国の事  
業の選択に全力で取り組み、  
地域再生プラン(町全体の計

画)が採択となった。今、正  
に海士の風が吹いており、人  
と人とのネットワークもでき  
つつあり、交流の中から人口  
増加に繋がる構想が次々と湧  
いてきている。地域再生プラ  
ンで定住に関する目標数値と  
して新たな産業創出によるも  
の、観光等交流によるものな  
どで合計約90人程度の定住を  
計画している。「自立促進プラ  
ン懇話会」を立ち上げ人口施  
策を検討する「チーム260  
0」を結成する予定。先般住  
民ボランティアの募集をかけ  
たところである。(7月16日結  
成)



第437回海士町議会8月臨時  
会が8月3日に招集され1日  
間の会期日程で開催されまし  
た。上程された議案は、隠岐広  
域連合規約改正一件、建設工  
事請負契約4件でいずれも各  
常任委員会で慎重に審議しま  
した。その結果、原案どおり可  
決しました。なお、議員発議に  
より意見書提出の件を議題と  
し、全員一致で可決しました。

隠岐広域連合規約の  
変更に関する意見書

次のような意見書を広域連  
合会長に提出しました。

平成16年8月3日第437回海  
士町議会臨時会において、「隠  
岐広域連合を組織する地方公  
共団体の数の減少及び隠岐広  
域連合規約の変更」について  
議決いたしました。

しかしながら、規約改正第  
2条及び第3条中の「隠岐の

島町」につきましては、この  
新町名に係る島前一体となつ  
た反対運動の経緯や住民の複  
雑な感情を思量するとき、本  
議会として、満腔の賛意を表  
することは到底できません。

このたびの議決は、隠岐広域  
連合の重要性に鑑み、医療、  
防災、福祉等、海士町住民の  
生活への影響の大きさや諸般  
の事情を考慮し、やむなく断  
腸の思いで決断したものであ  
ります。

どうか、こうした心情を斟  
酌いただき、今後の隠岐広域  
連合の事業運営にあたっては、  
他を思いやる互助の精神に立  
ち、島前、島後及び島根県の  
一層の連携強化を図るよう努  
めていただきたく、強く要望  
するものであります。

以上、地方自治法第99条の  
規定により意見書を提出いた  
します。

平成16年8月6日

海士町議会

議長 亀谷 潔

隠岐広域連合長

松田 和久 様

# 教育だより

## アドベンチャーキャンプ

### いっあま

8月4日から8日の4泊5日、「アドベンチャーキャンプいっあま」を開催しました。町内外から小学5年生から中学3年生までの42名の参加者と、カウンセラーとして、大



学生の参加がありました。アドベンチャーキャンプはふるさと教育推進の一大事業として「将来ふるさとを担う人材育成」心身ともたくましい子どもの育成」を目標としています。昨年に続き、今年も多く参加があり大変うれしく思います。

初めは、不安げな表情だった子ども達も、経験を積んでいる中学生リーダーのアドバイスを受けながら元気いっぱい活動しました。火焚きに熱中する子ども、かなぎに挑戦する子ども、「なげえ」までの手作りいかだの航海では、みんな力で合わせ、声をかけ合いゴールめざしてがんばりました。



た。そして、最終日のキャンプファイヤーでは、キャンプの仲間として、友情の絆を深める姿は、実に感動的でした。大自然の中での小学5年生から大学生までの異年齢集団の生活、人間関係、達成感がこのキャンプには生きづいていられるように思います。特に小学生をまとめていった中学生のがんばりには、すばらしいものがありました。「来年も来たい」「また会おうね」という子ども達の感想にやり遂げた充実感が漂っていました。この夏、アドベンチャーキャンプを通して、胸いっぱいの子ばらしい思い出が子ども達に生まれたことでしょう。

### \*\*参加者の感想\*\*

ぼくは、二回目の参加だったのでどんなことをするかわかっていただけ、とてもドキドキした。自分で考えて次のことをしたりできるように努力しようと思った。ぼくは、火おこしをする仕事を任せられたけどとても難しく、手伝ってもらったりした。どうしてつかないのかその理由を聞いてもう一度やってみたりもした。この時、一人でできなくてもみんなで協力すれば難しいことでもやりとげることができるんだなと思った。いかな航海の時、一位になろうとみんなで考えたいかだで競争が始まった。その時みんなで協力したから三位をとることができたと思う。料理の時、いかだ作りの時、出し物の時、協力すれば何でもできるし、知恵を出し合って楽しくすることもできる。ぼくは、アドベンチャーキャンプで協力し合うということを学んだ。今度は、弟と一緒に参加して、自分を強くしていきたいです。



### へキャンプ参加者

- 花岡ひとみ 川本司 宮下菜
- 上野成人 高橋聡馬 宇野貢
- 井上かおり 佐渡由希子 保
- 野大地 藤田幸子 村井春香
- 尾嶋美咲 杵築昇吾 中川貴
- 史 渡辺拓磨 吉元翔汰 山
- 根明奈 上田千晴 宮下舞
- 山中雄介 宇野信之 田口淳
- 尾嶋祥一 仲島愛 川本貴保
- 藤田理子 村上千仁 中川慎
- 哉 青山健太郎 大脇政人
- 宮下凱希 上村達也 佐渡遼
- 竹村直人 寺澤一将 藤田将
- 貴 斎藤昂一 龜原矢喜 井
- 澤航介(知夫) 中村耕陽 小
- 仲かおり(大阪) 梶谷友美

(松江市)



# つくった！売った！



5月からチャレンジ土曜クラブで育ててきたスイートコーンを収穫、キンニヤモニヤセンターで販売しました。

5月に八百本を植えつけ、6月にはカラス対策のてぐす張り、草抜きと世話をしてきたかいがあり、たくさんスイートコーンを収穫。子ども達も満足気でした。そして、センターでの販売で、「いらっしやいませ」「安いよ」と元気な声で呼びかける姿は、自分達が働いてつくったんだよとなにやら誇らしげでした。



# 夏つこわんぱくスクール

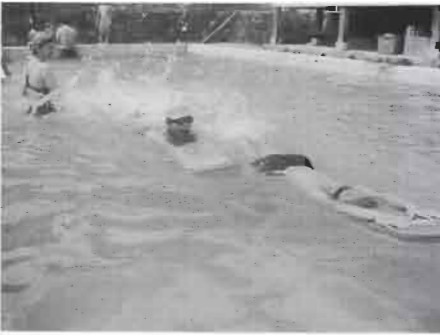
## 水泳教室開催



「隠岐の子だけど、ちゃんとした泳ぎ方知らんみたい」「海士小はプールがないけん」「泳ぎ方を身につけたら海ももっと楽しめるのに」こんな会話をなさんしたのはありませんか。海に囲まれたふるさとでの自然に親しむため、また海の危険から身を守るためにも、正しい泳法を子ども達に身につけることは重要なことです。しかし、学校教育の中だけでは十分に時間や場所が確保できない状況にあり、子ども達の泳力も高くない実態が見られていました。

そこで、7月19日から22日

の4日間、福井小学校のプールを開放してもらい小学1、4年生を対象に「夏つこわんぱくスクール 水泳教室」を開催しました。目標は、クローリングで15メートル泳ぐことです。実際の活動では、インストラクターの向山友美さんの丁寧な指導を受け、子ども達は驚くほどの上達ぶりでした。3・4年生の殆どの子も泳、1・2年生もばた足等で泳げるようになりました。この水泳教室をきっかけに子ども達の泳力が高まり、海の楽しさをさらに満喫して欲しいと思います。まだまだ、発展途上で終わった子どもたくさんいます。この続きは、お父さん、お母さんの出番でしょうか。



# 居場所づくり

## かぶと虫探検隊

今年度より、教育委員会では「子どもの心安らぐ居場所づくり事業」に取り組んでいます。これは、子どもが自由に立ち寄ってくつろぎ、地域の大人の支援を受けながら様々な活動を行う「心安らぐ居場所」を地域につくろうとするものです。そこで夏休みの居場所づくりの活動として、宇受賀の湯本茂則さんの山へカブトムシの見学に出かけました。湯本さんの山は、カブトムシだけでなく、ニワトリがいたり、森林があつたりと子ども達の好奇心をかりたてるワンダーランド。子ども達は、ワクワク・ドキドキで足を運びました。

湯本さんのカブト園には、数百匹のカブトムシが育てられていて、それを見た子どもたちは「わー、すごい」の歓声。どのように、カブトムシを育てればいいのか、カブトムシの見つけ方等の話を聞いた後、湯本さんから一人ひとりにカブトムシのプレゼントがあり、子ども達は大喜びで

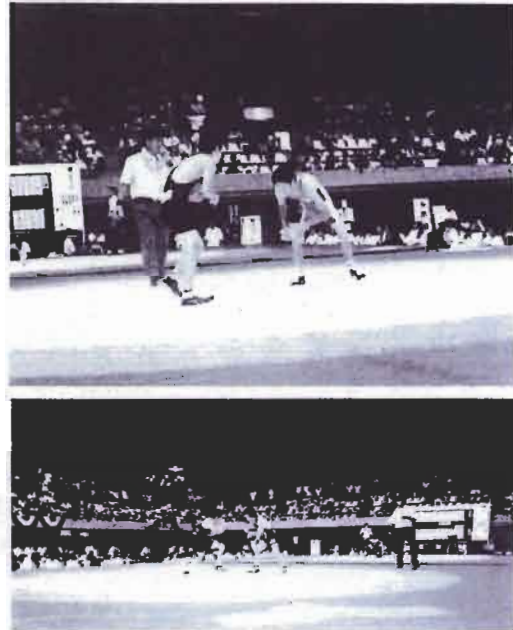
した。現在、テレビゲーム、パソコン等による子どものメディア漬けによる、体力や視力の低下、社会性の欠如など問題視されていますが、海士の子も達も外ごとではありません。居場所づくりの取り組みを通して、地域の中に子ども達が自然や人とのふれあいを深める居場所がたくさんできればと思います。



# 隠岐島前高校だより

## 平成 16 年度全国高等学校総合体育大会三笠宮賜杯 第 51 回全国高等学校レスリング選手権大会

7月後半から8月中旬まで本県を主会場として、全国高等学校総合体育大会(中国04総体)が開催されました。本校からは島根県を代表してレスリング部が、岡山県・倉敷市で開かれた大会に出場してきました。



### ～結果報告～

(団体戦)

1 回戦 対 喜多方工業高校(福島) 2 - 5

(個人戦)

- 50 kg級 3 回戦進出 橋本 亮介 (ベスト 16)
- 55 kg級 2 回戦進出 澤谷 彰文
- 60 kg級 初戦判定負 奥田 恭兵
- 66 kg級 初戦フォール負 永原 千暁
- 74 kg級 初戦テクニカルフォール負 竹谷 友
- 96 kg級 初戦テクニカルフォール負 並河 真和
- 120 kg級 2 回戦進出 宮本 和矢

今大会で3年生は団体戦として戦うのは最後となってしまいましたが、自分たちが持っている力を出しきりました。結果は入賞することができませんでしたが、各部員とも全国大会という舞台でたくさんのことを感じたと思います。その思いを忘れることなく次の大会に向け練習したいと思います。

たくさんの方々に応援していただきありがとうございました。

(監督:河内 龍馬)

### ❶ 新しい手口の犯罪にご注意を!

ここ島前地区でも、有料サイト利用料金、債権回収といった架空請求のハガキやメールが送られてきた、オレオレ詐欺の電話があった、身に覚えのない代金引換の郵便物がきたなどの相談が急増しています。また、被害も発生しています。

#### 【架空請求被害防止のための3箇条】

- 1 支払わない
- 2 連絡をとらない
- 3 冷静に対応し相手にしない

#### 【オレオレ詐欺被害防止のための3箇条】

- 1 子や孫の名前を言わない
- 2 送金しない
- 3 事実かどうか確認する

不審な電話、ハガキ、メールなどがあつた時は、遠慮なく浦郷警察署にご相談下さい。

警察安全相談56件(H16.7末)



### ❷ バック(後退)の事故多発

後退時の交通事故は、島根県では全事故のわずか3%ですが、島前では実に30%を占めています。しかも、その殆どが路地や駐車場(車庫)からバックで発進する際に発生しています。

車に乗ったら、必ず前進でスタートできるよう、駐車する際は、出船方式の駐車を心掛けましょう。

#### ▲お問い合わせ先

- 浦郷警察署 ⑥-0121
- 浦郷警察署海士駐在所 ②-0426
- 知々井駐在所 ②-0670



# より苑訪 盆踊りで交流

特別養護老人ホーム諏訪苑において8月7日一足早く盆踊り大会が行われました。家族会の会長崎野喜久一さんから「恒例の盆踊り大会を一緒に楽しみましょう。」と挨拶があり、庭の中央に設置されたやぐらの上で、地域有志による唄い手、地方ら5名が「口説き、山くづし」に合わせ、浴衣姿の家族や有志の方々、



帰省中の親戚ら100名余りが輪になり入居者を囲み楽しい団らんの姿がありました。

入居者からは、「踊りや唄は昔と変わっていない」と懐かしそうに話をしていました。また、会場では、焼きそば、焼き鳥、スイカ、焼きトウモロコシ等の屋台が設けられ、気分を一層満喫しました。

(尾嶋洋子)

## 更生保護女性の会から 募金のお礼

7月1日から1ヶ月間全日本で「第54回社会を明るくする運動」が展開されました。海士町更生保護女性の会では、この運動のため「愛の図書寄贈運動」をおこないました。

その趣旨にご賛同下さった方々から左記のように多額の募金が集まりました。ここに報告に合わせ改めて厚くお礼申し上げます。

募金総額	467,883円
支出額	
・ 県更生保護女性連盟へ	180,000円
・ 町内小中学校 (3校へ寄贈)	180,000円
・ 町内保育園	60,000円
・ 更生保護女性の会活動費	47,883円

第175回全珠学連(珠算)	初 段	上田真奈美(北分)
第228回全珠学連(珠算)	1 級	平田 拓希(北分)
	2 級	青山健太郎(菱浦)
	4 級	山崎 理沙(菱浦)
		吉元 麻湖(菱浦)
		増谷 実香(菱浦)
		佐藤 太陽(東)
	6 級	沼田 菜那(中里)
		子隅奈々美(福井)
		藤田 理子(北分)
第184回全珠学連(暗算)	1 級	上田真奈美(北分)
		浜 尚也(崎)
	4 級	青山奈津季(菱浦)
		山崎 理沙(菱浦)
		吉元 麻湖(菱浦)
		増谷 実香(菱浦)
		渡辺 健吾(福井)
第176回全珠学連(珠算)	初 段	浜 尚也(崎)
第229回全珠学連(珠算)	2 級	宇野 希(北分)
	3 級	吉元 麻湖(菱浦)
	6 級	宇野 誓華(北分)
	8 級	真野 航大(北分)
		佐藤真理愛(東)
		宇野 由希(北分)
		青山 達哉(菱浦)

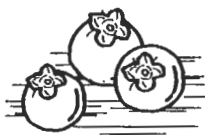
第185回全珠学連(暗算)	3 級	佐藤 太陽(東)
	5 級	宇野 綾華(北分)
	6 級	宇野 遥(北分)



1 級合格者 平田 拓希くん



初段合格者 浜 尚也くん



### ◆◆◆ 隠岐神社秋季大祭のご案内 ◆◆◆

Ⅱ 65周年記念事業Ⅱ

\* 期 日

平成16年10月23日～24日

\* 場 所 隠岐神社

\* 内 容

23日

(午前) ちびっ子相撲奉納  
(午後) 祭典・和太鼓演奏

24日

(午前) 祭典  
(午後) 神幸祭

後鳥羽天皇をお祀りする隠岐神社が創建されてから今年  
は65周年ということで記念大祭が行われます。

今回の主な行事は神幸祭(おたび)と和太鼓の演奏奉納です。皆さん是非お出かけ下さい。



### 住まいるのコーナー

この夏の交通事故  
皆さん、どうおられますか？

(一) 一時停止して出てきた車  
と一時停止しなくてもいい  
方から出てきた車との出会い  
の衝突事故です。

(二) 直進一時停止しはしなけれ  
ばいけません。

だが、それだけでこの事  
故は防がれたでしょうか？

お互いにもっと安全確認  
をしていれば防げる事故で  
はないでしょうか。

### 戸籍の窓

6/1～31届出分

(太字は地区在住者)

### すこやかに

- 喜多川諒人くん 昭博 菱浦
- 板山 奈央ちゃん 次男 東
- 藤田 真綾ちゃん 秀樹 宇受賀
- 藤田帆乃夏ちゃん 秀行 宇受賀
- 中西こなつちゃん 誠 日須賀
- 今本 綾香ちゃん 芳久 東
- 湯本 聖矢くん 知昭 宇受賀

### しあわせに

- 山戸 貢さん 豊田
- 土松 由佳さん 知々井
- 奥川 聖吾さん 御波
- 奥村 直美さん 御波
- 和田 知也さん 御波
- 常盤 麻美さん 御波
- 横棚 繁樹さん 菱浦
- 成瀬さや香さん 菱浦
- 安達 隆徳さん 保々見
- 萩原紀代美さん 保々見
- 山岡 真幸さん 菱浦
- 海老澤美弥さん 菱浦
- 淀 晋作さん 菱浦
- 中畑みゆきさん 西
- 辻野 裕也さん 東
- 横棚 昌世さん 菱浦
- 宮田 悟さん 菱浦
- 村川ヤスエさん 東
- 松延 直澄さん 菱浦
- 井上 正美さん 菱浦

### あま 海士っこ



のんの 暖乃ちゃん (3歳)  
はく 漢くん (1歳7ヶ月)

雄二さん・いずみさんのお子さん  
(福井在住)

元気いっぱい育ててね!

このコーナーでは、就学前までのお子さんを  
紹介しています。写真とコメントを添えてお送  
り下さい。お待ちしております。

問い合わせ先：総務課広報係  
TEL 2-0115

- 香典返し
- 金一封 京野 喜三様 静岡県
- 金一封 清水喜久一様 東
- 金一封 佐藤 栄吉様 菱浦
- 金一封 石田 功様 東
- 金一封 中山 忠範様 北分

### 紙上からのお礼

- 井筒 幸子さん 東 57歳
- 船田 敏晴さん 崎 88歳
- 青山 惟通さん 菱浦 80歳
- 脇谷アヤ子さん 菱浦 96歳
- 小出ツヤ子さん 菱浦 89歳
- 中瀬 明満さん 東 76歳
- 坂根 房子さん 菱浦 91歳
- 亀原 勇さん 宇受賀 52歳
- 石田菊太郎さん 東 93歳
- 前川 倉一さん 豊田 73歳
- 清水 春男さん 東 72歳
- 浅野 マサさん 東 96歳
- 脇谷 歳守さん 菱浦 87歳
- 高木 静子さん 東 98歳
- 中山 増次さん 北分 54歳
- 野澤 秀夫さん 多井 82歳

### やすらかに

- 山代 大樹さん 中里
- 原 葉子さん 中里
- 丹羽 裕一さん 豊田
- 丹後香菜子さん 豊田
- 秋月 雅輝さん 日須賀
- 泊 恵美さん 日須賀
- 佐渡 一登さん 多井
- 西本 幸代さん 多井

- 金一封 尾崎 寿子様 大阪府
- 金一封 青木 俊彦様 四條畷市
- 金一封 梅原 敬子様 大阪市
- 金一封 小出 晶子様 姫路市
- 金一封 八旗 篤様 四條畷市
- 金一封 藤田 正夫様 大阪府
- 金一封 上野 正様 松江市
- 金一封 小谷 康之様 藤沢市
- 金一封 片桐 憲一様 東京都
- 金一封 藤井ヤス子様 松江市
- 金一封 高野 利徳様 松江市
- 金一封 大野 貞美様 名古屋
- 金一封 大野 貞美様 名古屋
- 金一封 藤田 正夫様 大阪府
- 金一封 八旗 篤様 四條畷市
- 金一封 小出 晶子様 姫路市
- 金一封 梅原 敬子様 大阪市
- 金一封 青木 俊彦様 四條畷市
- 金一封 尾崎 寿子様 大阪府

- 見舞返し
- 金一封 高木 重徳様 東
- 金一封 上田カズエ様 西
- 金一封 濱 茂様 崎
- 広報郵送料
- 金一封 小谷 康之様 藤沢市
- 金一封 上野 正様 松江市
- 金一封 片桐 憲一様 東京都
- 金一封 藤井ヤス子様 松江市
- 金一封 高野 利徳様 松江市
- 金一封 大野 貞美様 名古屋
- 金一封 大野 貞美様 名古屋
- 金一封 藤田 正夫様 大阪府
- 金一封 八旗 篤様 四條畷市
- 金一封 小出 晶子様 姫路市
- 金一封 梅原 敬子様 大阪市
- 金一封 青木 俊彦様 四條畷市
- 金一封 尾崎 寿子様 大阪府

### 寄付金

- 金一封(有) イズカンパニー
- 井上 勇様 松江市
- 福島 房義様 宇受賀
- 小出千津江様 菱浦
- 高木 重徳様 東
- 船田 宏様 兵庫県
- 脇谷 満様 菱浦
- 浅野 悦司様 菱浦
- 前川 清司様 豊田
- 亀原 宗重様 宇受賀
- 中瀬 真聡様 東
- 小出千津江様 菱浦